

経営比較分析表（平成30年度決算）

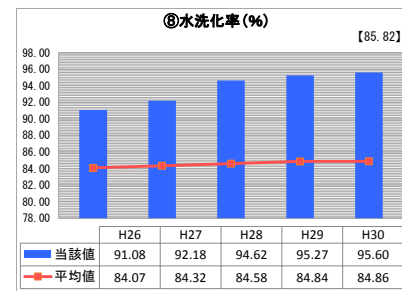
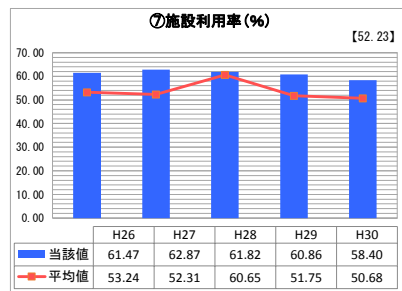
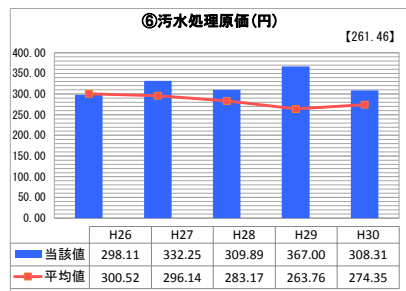
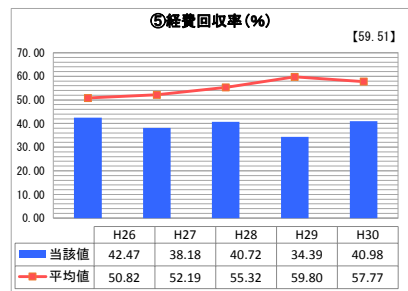
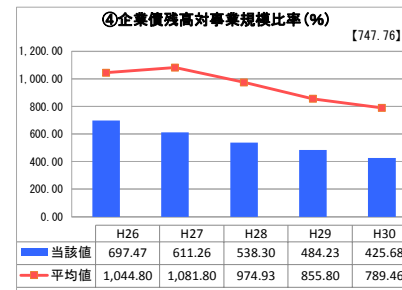
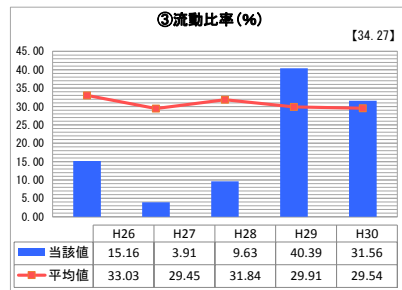
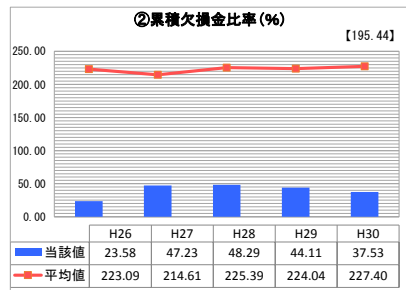
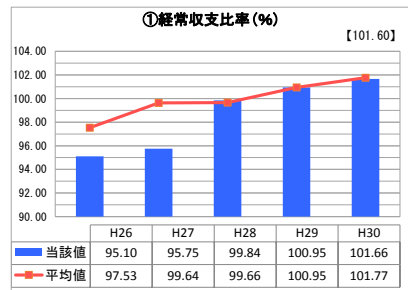
滋賀県 草津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	83.14	3.57	97.59	2,484

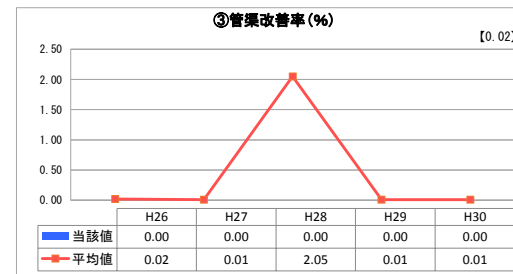
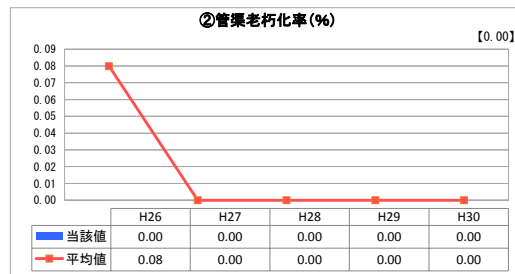
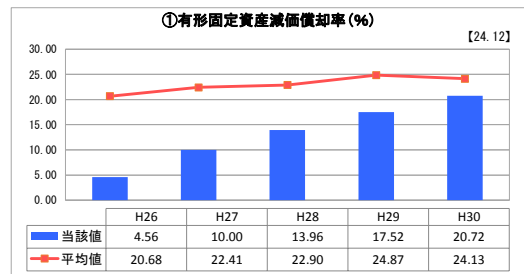
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
133,975	67.82	1,975.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,794	1.74	2,755.17

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 単年度の経常的な収支の比率を表す経常収支比率は、100%を超え、黒字となっています。
 ② 農業集落排水事業は、公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業と合わせて運営しており、全体での累積欠損金比率は0%となります。
 ③ 短期的な債務に対する支払い能力を表す流動比率は、100%を下回っていますが、企業債の支払いが多いためです。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回るものの、建設投資を行った企業債残高が多いことから、高い値となっていますが、今後は減少していく見込みです。
 ⑤ 費用に対する下水道使用料収入の割合を示す、経費回収率は、100%を下回る状況となっており、繰出基準に基づく一般会計繰入金その他、一般会計の補助金収入で賄っている状況となっています。
 ⑥ 有収水量1m³あたりの費用を表す汚水処理原価は、修繕費等が減少したことにより、昨年度を下回る状況となっています。
 ⑦⑧ 施設利用率、水洗化率は、類似団体の平均を上回っており、管渠を含めた施設の効率的な利用が出来ている状況です。

2. 老朽化の状況について

① 施設全体の減価償却の状況が、平均を下回っているのは、平成26年度より法適用へ移行した際に、資産価値を経過年数分減じて評価し計上し直したうえで減価償却を行ったことが要因と考えられます。
 ② 本市で最も古い管渠の経過年数は30年であり、標準的耐用年数である50年には達しておらず、当該年度で更新改善を実施した管はありません。今後は公共下水道へ接続し、老朽化の進行にあわせて対応していく予定です。

全体総括

農業集落排水事業としての下水道事業を、昭和61年度より着工し、平成元年度～平成9年度にかけ、6地区の処理場を順次、供用を開始しました。
 近年、各処理場の設備を中心に老朽化が進行し、維持管理費が増加傾向にあります。老朽化への対応などの問題解消および経済性の観点から、公共下水道への接続を進めてきました。
 令和2年3月に全ての処理区について公共下水道への接続が完了する予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。